

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成 19 年度				管理	5-8-7-6
事務事業名 汚水処理施設維持管理事業				部等名	企業局
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	上下水道課
	公共下	07-030101001	細々目名		
政策体系	基本目標	5	安全・安心な環境のまちづくり		
	施策	8	下水道等の整備		
	基本事業名				

事業概要 実施内容	下水道汚水施設の適正な維持管理				
根拠法令等	下水道法	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> その他事業		
		評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定 ( 年度 ~ 年度 )			
決算額	1 報酬	円	11 需要費	3,382,859 円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役務費	363,396 円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	9,940,749 円	19 負担金補助及び交付金	円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	13,687,004 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象 (誰を、何を)		下水道供用区域内の市民	
手段 (事業の具体的な内容、手順等)	現在稼働中の汚水中継ポンプ場 1箇所、汚水マンホールポンプ場 9箇所の定期点検	活動指標名・式 (アウトプット) 活動の大きさを表す指標	
		指標 (1)	名称 汚水ポンプ場の稼働日数 式
意図 (対象を、どのような状態にしたいのか)	ポンプ等を正常に稼働させて、各家庭からの汚水を県中浄化センターへ確実に流入させる。	成果指標名・式 (アウトカム) 意図の達成度を表す指標	
		指標 (1)	名称 汚水ポンプ場が正常に稼働した割合 式 汚水ポンプ場が正常に稼働した日数/汚水ポンプ場の稼働日数
事務事業を実施 (意図を実現) することで、施策にどのように貢献していますか 日常の維持点検により、公共用水域の水質を保全し美しく快適な環境を持つ市にする。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)
指標	活動指標 (1)	日				366	365
	活動指標 (2)						
	成果指標 (1)	%				100	100
	成果指標 (2)						
投入量	事業費	財源内訳	千円				
		国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
	一般財源	千円				13,687	13,430
	事業費計 (A)	千円				13,687	13,430
	職員数	人				0.1	0.1
人件費	人件費平均額 (年)	千円				8,373	8,373
	人件費計 (B)	千円				837	837
	総事業費 (A+B)	千円				14,524	14,267

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境 (対象者・法令等・社会情勢) はどう変わりましたか？ 汚水ポンプ場等は常時正常に稼働できるように万全の体制を整えている。ただ、施設及び設備類の経年劣化により年々修繕の割合が増えている。
この事業に対して、関係者 (市民・議会・事業対象者・利害関係人等) からどんな意見や要望が寄せられていますか？ 特に無し

[ 目的妥当性評価 ]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
施設の機能維持は河川の水質を保全し、結果居住環境の向上に結びつく。	採算等が考慮できない事業であり、公共施設の維持管理は市の責務である。	公共用水域の水質保全を図るためには日常の維持管理が重要である。
[ 有効性評価 ]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
現状では万全な対応ができていて、今後は施設の修繕等を行うことにより更なる向上を目指す。	施設等の不具合が発生し、水質汚濁につながる。	現状では農集排と統括して管理しているが、その他類似する事業はなく専門的な知識を要するため現状では他の手段は考えられない。
[ 効率性評価 ]		[ 公平性評価 ]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】
長期委託にし委託料の削減はしているが、施設等の経年劣化により修繕料の増加が考えられることからこれ以上は難しい。	維持管理業務は委託しているため、定期点検や洪水時のポンプ運転等に関わる人件費のみである。	水洗化を促進し水洗化の住宅と未水洗化住宅との公平化を図らねばならない。

3. 評価結果の総括と今後の方向性

<b>(1) 1次評価者としての評価結果</b> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	<b>(2) 全体総括 (振り返り、反省点)</b> 長期委託にし委託料の削減はしているが、施設等の経年劣化により修繕料の増加が考えられることからこれ以上は難しい。																					
<b>(3) 今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	<b>(5) 改革・改善による期待成果</b> 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<b>(4) 改革改善案の概要</b> 水洗化の普及に努め水洗化の住宅と未水洗化住宅との公平化を図らねばならない。																						
<b>(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策</b> 高齢者のみの住宅の増及び現日本の景気の低迷等の影響により、水洗化を躊躇している。																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象  2次評価対象外

<b>(1) 2次評価者としての評価結果</b> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<b>(2) 評価結果の根拠と理由</b>																					
<b>(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	<b>(4) 改革・改善による期待成果</b> 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<b>(5) その他、2次評価会議で指摘された事項</b>																						